

# 研究課題「先島諸島ヒト集団における歯の形態と遺伝的背景」に参加された皆さまへ

東京大学大学院理学系研究科では研究科長の許可を得て、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、試料および情報等を本研究に利用または提供されることを希望されない場合は、**試料および情報の利用を停止いたしますので**、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (審査番号)	現生人類の拡散と適応に関する集団ゲノム解析 (23-241)
研究責任者 (所属)	太田 博樹 (東京大学・大学院理学系研究科・生物科学専攻)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	現在のところはありません。今後、共同研究機関が追加される場合には、当該機関における倫理委員会での申請・承認を行います。
本研究の目的	ホモ・サピエンスは、20~10 万年前にアフリカで誕生し、約 6 万年前にアフリカの外へ出て、ユーラシア大陸に拡散しました。このようにサピエンスは、非常に短い期間で、地球上のあらゆる環境に適応しました。この拡散と適応を生物学的に可能にしたものは何かを集団ゲノム学解析を基礎に、 <i>in silico</i> 解析および細胞生物学的実験をもちいて明らかにします。
研究実施期間	平成 18~令和 10 年
調査データ(該当期間)	2006 年 3 月~2010 年 3 月の期間に研究課題「先島諸島ヒト集団における歯の形態と遺伝的背景」において収集した試料および情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<ul style="list-style-type: none"><li>●対象となる方 研究課題「先島諸島ヒト集団における歯の形態と遺伝的背景」において収集した試料提供者</li><li>●利用する試料・情報 匿名化された血液試料から樹立した不死化リンパ球細胞、性別・年齢・出身地の情報</li><li>●方法 これまでに収集してきた試料 (DNA、末梢血、不死化細胞、唾液、糞便) やゲノム配列データをもちいて、ヒトの全ゲノムおよび代謝・生理等と関連する遺伝子や東アジア (特に日本) で著しく頻度が高い疾患リスク変異を中心に分析をおこないます。表現型と遺伝子型の関連が明白な変異については、それらをもつ細胞系および iPS 化し、分化誘導した細胞をもちい、ゲノム網羅的遺伝子発現解析、メチローム解析、メタボローム解析をおこないます。</li></ul>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	現在のところ、他の研究機関への提供はありません。外部共同研究機関が追加される場合においては、外部機関には、匿名化されたサンプルおよびデータのコード番号を渡し、単体で特定の個人を識別できる情報は一切提供しません。また、情報の提供に際し、当該外部機関と契約の締結及び当

	<p>該外部機関への必要かつ適切な監督を行う。試料やデータを外部機関に提供するには、提供に関する記録の作成および保管を行います。</p> <p>尚、ゲノム網羅的遺伝子発現（トランスクリプトーム）解析の一部を先進ゲノム支援で実施します。先進ゲノム支援では、ゲノム科学全体の発展のためにデータの公開・共有を積極的に進めることを方針としており、支援で得られたデータを公的データベースへ登録し、共有することが求められているため、支援により得られたデータをデータベースへ登録します。データベースを通じたデータ共有では、日本国内の研究機関に所属する研究者だけではなく、製薬企業等の民間企業や外国にある研究機関に所属する研究者もデータを利用する可能性があります。先進ゲノム支援の支援担当者は、以下の2名です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術支援（シーケンス支援）を担当する班員 豊田 敦（国立遺伝学研究所・ゲノム・進化研究系・特任教授）</li> <li>・情報解析支援を担当する班員 黒川 顕（国立遺伝学研究所・情報研究系・教授）</li> </ul>
試料・情報の二次利用	<p>現在のところ作成した iPS 細胞を他の研究に利用する予定はありませんが、他の研究に利用する場合は、あらためて倫理審査を受けます。</p>
個人情報の取り扱い	<p>本研究で取得された種々のデータおよび試料は、個人の名前や住所といった情報が付されることはなく対象者番号のみが付されます。参加者個人の氏名・住所などの連絡先および対象者番号との対応は記録せず、破棄されます（第一段階の匿名化）。さらに、個人情報管理者によって、試料から対象者番号が消去され、新しい番号（試料コード番号）が無作為に付されます（第二段階の匿名化）。同意書ならびに対象者番号と試料コード番号の対応表は、漏洩のないように個人情報管理者によって鍵のかかったキャビネットに保管されます。</p> <p>これらの匿名化作業により、参加者の氏名と、遺伝情報との対応関係は、遺伝情報を直接扱う研究者には識別できなくなります。電子データは、施錠可能な部屋に設置されたインターネットに接続していないコンピュータに保管され、解析されます。</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>大学運営交付金、寄附金、および文部科学省科学研究費などを研究資金としています。本研究に係る利益相反はございません。また、研究機関の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとします。</p>
お問い合わせ先	<p>電話：03-5841-7580 担当者：東京大学・大学院理学系研究科・生物科学専攻 太田博樹</p>
備考	